

福祉教育プログラム集

みんなで作るやさしいまち

ふじしの ふくしの ふろぐらむ

富士市福祉人材育成事業実行委員会
つながろうプロジェクト実行委員会
社会福祉法人富士市社会福祉協議会



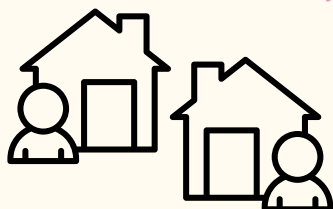
活用のヒント

この冊子は、学校や地域、福祉施設での福祉学習やボランティアの受け入れを行う際に活用できるプログラムを紹介しています。



学校で…

- ・総合的な学習や道徳、社会科の授業に
- ・休日や長期休みの学習、活動に
- ・身近な「困りごと」や「助け合い」について考えるきっかけに



地域で…

- ・講座や研修のメニューづくりの参考に
- ・イベントや行事における福祉の啓発に
- ・学校や福祉施設とつながるきっかけに
- ・世代交流の場に



福祉施設で…

- ・学生の福祉実習やボランティア受け入れに
- ・職員が地域とつながるきっかけに
- ・福祉の魅力を伝えるキャリア教育に
- ・イベントや出展のメニューづくりに

相談はお気軽に富士市社会福祉協議会まで！



興味のあるプログラムや、取り組みたいメニューがありましたら、お気軽にご相談ください！
事前学習から振り返りまでサポートします。

富士市社会福祉協議会
ボランティアセンター
住所：富士市本市場432-1
富士市フィランセ東館3階
0545-64-7100
vc@fujishishakyo.com

↑問い合わせフォーム

CONTENT

福祉教育の目指すところ	3
すべての人に向けた「福祉教育」	4
福祉教育の機能と役割	5
プログラムのご案内	
「福祉」にまつわる事前学習	6
ユニバーサルデザインとバリアフリーについて	7
車椅子ユーザーの生活を知ろう！	8
アイマスク・白杖体験から考える	9
高齢者疑似体験に学ぶ	10
ボランティアってなんだろう	11
食から理解する福祉の力	12
食事につながる福祉と地域	13
地域とつながる防災	14
福祉の視点から災害を考える	15
児童養護施設について知ろう	16
福祉用具を体験してみよう	17
エコキャップや古切手はどこに行くの？	18
高齢者の暮らしを知り、支え合いを学ぶ	19
地区のガイドマップをつくってみよう	20
パラスポーツを体験してみよう	21
突撃！あなたにインタビュー	22
赤い羽根共同募金について	23
おたすけツール紹介	24
相談ガイド	25
プログラムづくりのポイント	26
委員メッセージ	27

01

福祉教育の目指すところ

01

福祉とは…

みなさんは「福祉」と聞いて、どんなことを思い浮かべるでしょうか。

「高齢者や障がい者に関すること」

「困っている人を助けること」

そんなイメージを持つ人も多いかもしれません。

しかし福祉とは、困った人のための特別なものではなく、すべての人にとって身近で、大切なものです。

02

ふだんのくらしのしあわせ

一人ひとり、思い浮かべるしあわせは違います。自分のしあわせや、まわりの人の「しあわせ」について考えてみるのが大切です。

すべての人が「しあわせ」になれる「ふだんの暮らし」について考えることが、「誰もが暮らしやすいまちづくり」につながります。

03

「誰もが暮らしやすいまち」に向けて

そのような地域は誰かがつくってくれるものではなく、私たち一人ひとりが考え、つくりあげていくことが求められています。

そのために必要な力を、こどもの頃から育み、将来の「地域を支える人」になるための土台をつくるのが福祉教育です。

福祉教育は…



「思いやる心」



「共感する心」



「想像する力」

を育みます

02

すべての人に向けた「福祉教育」

01

「学校」における福祉教育

体験や学習における、子どもたちが自ら見つけたちょっとした疑問や気づきを活かすことができます。

学校内だけでなく、地域へと広げることができるよう、社会福祉協議会をはじめ、福祉施設やボランティア、コミュニティ・スクール・ディレクター(CSD)と連携し、プログラムを作成します。

02

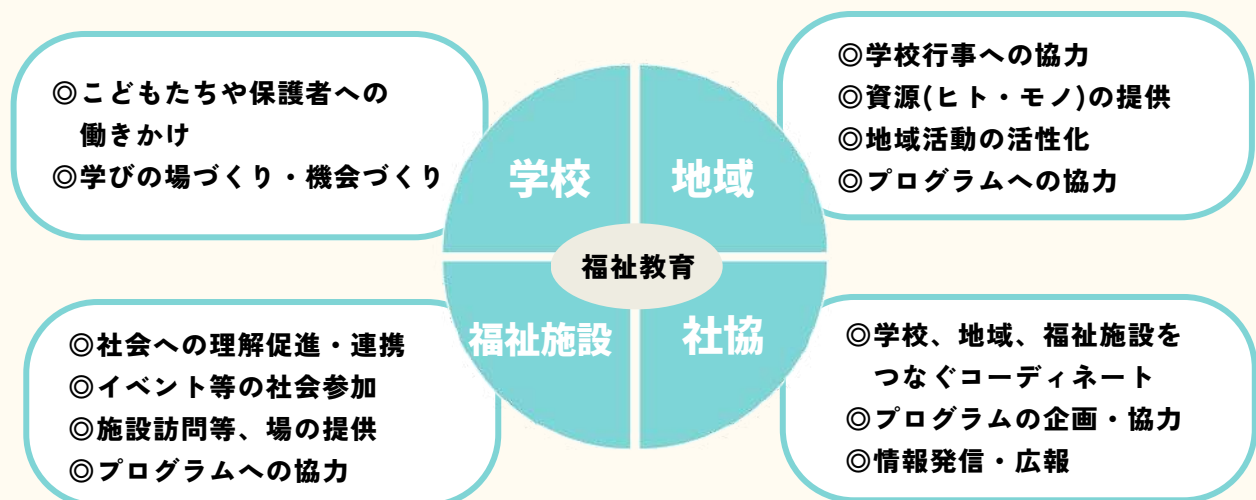
「地域」における福祉教育

福祉教育とは、「生活」や「いのち」「しあわせ」といったテーマについて、ともに学び合い、活動していく生涯にわたる学びであり、子どもや学校だけに限られたものではありません。

地域でも福祉教育を深めることにより、より多くの理解者や協力者を増やしていくことにつながります。

03

学校 × 地域 × 福祉施設 × 社会福祉協議会



03

福祉教育の機能と役割

このプログラム集では、以下の効果が期待できるプログラムへ「福祉教育アイコン」を添付しています。体験や学習の目指すゴールに応じて、様々なプログラムを考えることができます。

01

誰一人取り残さない
富士市へ



02

食べる、生きる、
つながる



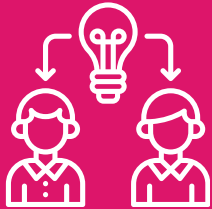
03

困らない、迷わない、
使いやすい



04

相手の立場に
なって考える



05

気づく、考える、
学び合う



06

知ることこそ、
優しさの第一歩



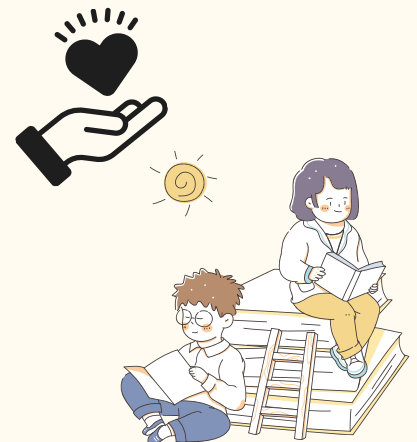
07

年齢を超えて
支え合うしくみ



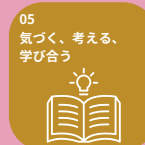
08

小さな行動、
大きなつながり



Program
Number

プログラムのご案内



01 「福祉」 にまつわる事前学習



こんな体験や学習に！

- これからの学習で福祉について学びたい
- 身近な福祉について知りたい、知ってほしい



- 学習内容や授業に、「福祉」を結びつける
- 生徒、参加者が自発的に、「福祉」について考える
- 日常生活の「福祉」に思いを馳せる



「総合的な学習に福祉を取り入れたいけれど、どんなことができるの？」
「福祉の学習を検討しているので、オリエンテーションをやってほしい」
という方向けのプログラムです！
高齢者や障がい者、子どもだけに限らない、地域や日常生活に目を向けていく
ことができるような、福祉にまつわる事前学習を行います。



01

参加人数

少人数～30名前後
※相談可

02

所要時間

おおよそ45分
(授業の1コマ)

03

対象者

小学生～中学生程度

04

方法

出前講座、地域探索

05

プログラムアイデア

【例】

- 地域の人たちから学ぶ「やさしいまち」について考える
- 富士市社会福祉協議会の職員による講話
- まちの「福祉」を探るフィールドワーク



06

その他

これまでに福祉に関する学習を行っている場合は、内容について教えてください。

02 ユニバーサルデザインとバリアフリーについて



こんな体験や学習に！

- ・学習のなかで「やさしいデザイン」について学びたい
- ・日常生活にある福祉のデザインについて知ってほしい



- ・どんなデザインがあるのか、
どんな人が助かっているのかを知る
- ・どこに暮らしにくさが隠れているのか、
どんな人が困っているのかを考えてみる



ユニバーサルデザインとバリアフリーについて知っていますか？
どういった場で使われているのか、どういう意味があるのかを学び、
身の回りのデザインを探したり、どんな人が助かっているのか、
他の人にとってはどんな暮らしにくさや使いにくさがあるのか
を考えていきましょう。



01

参加人数

少人数～30名前後
※相談可

02

所要時間

おおよそ45分
(授業の1コマ)

03

対象者

小学生程度

04

方法

出前講座、地域探索

05

プログラムアイデア

【例】

- ・世の中の商品に触れてみる
- ・地域周辺を探してみる
- ・学校や施設内のバリアフリー探し
- ・「もっと優しい建物にするには？」を考える
グループワーク



06

その他

地域探索や長期休み前に、福祉的な視点を持つオリエンテーションとしても検討できます。

03 車椅子ユーザーの生活を知らろう！



こんな体験や学習に！

- ・ 講話や体験を通して、その人の視点や思いを知ってほしい
- ・ 参加者や来館者にユーザーがいるため、事前に研修をしたい



- ・ 暮らしやすいまちにするためにはどんな工夫が必要かを考える
- ・ 身の回りの環境を振り返る
- ・ 実際の体験から、声掛けの仕方や車椅子の操作方法について知る



車椅子ユーザーも、みなさんと同じ地域で、工夫をしながら生活しています。どのように生活をしているのか、どんな工夫をしているのか、困っていることはあるかなど、日常について聞いてみるすることができます。普段、何気なく使っているものや過ごしている場所にどんなバリアがあるのか、車椅子をどのように操作するのかなど、一緒に学びましょう。



01

参加人数

会場の広さと車椅子の台数に応じる。特に制限なし

02

所要時間

講話・体験だけでも可
それぞれ1時間ほど

03

対象者

小学生～大人まで可

04

方法

出前講座・体験、地域探索

05

プログラムアイデア

【例】

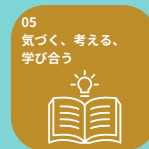
- ・ 車椅子ユーザーの日常を知るための講話や体験
- ・ 車椅子ユーザーへの声掛けや介助方法について知る講話
- ・ 学校周辺や地域へと出ていく体験
- ・ 「誰もが暮らしやすいまち」をテーマにしたグループディスカッション



06

その他

富士市社会福祉協議会では福祉用具の貸出をしています。
詳細は24ページをご確認ください。



04 アイマスク・白杖体験から考える

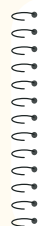


こんな体験や学習に！

- ・ 講話や体験を通して、その人の視点や思いを知ってほしい
- ・ 参加者や来館者に視覚障がい者がいるため、事前に研修をしたい



- ・ 暮らしやすいまちにするためにはどんな工夫が必要かを考える
- ・ 身の回りの環境を振り返る
- ・ 実際の体験から、声掛けの仕方や視覚障がい者の誘導方法について知る



視覚障がいと言っても、程度や種類は様々。だからこそ、その人が工夫するものや行動も様々です。日常生活の動作をアイマスクをしたまま行ったり、視覚障がいを持つ人の気持ちや、困っている人がいたらどう対応すればよいのか、配慮すべきことを考えていきます。



01

参加人数

会場の広さと体験グッズの数に応じる。特に制限なし

02

所要時間

講話・体験だけでもそれぞれ1時間ほど

03

対象者

小学生～大人まで可

04

方法

出前講座・体験、地域探索

05

プログラムアイデア

【例】

- ・ アイマスクを使って障がいのある人の暮らしを体験する
- ・ 視覚障がいの方による講話
- ・ 生活上の工夫を知るための調べ学習

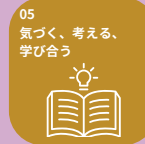


06

その他

富士市社会福祉協議会では福祉用具の貸出をしています。
詳細は24ページをご確認ください。

05 高齢者疑似体験に学ぶ



こんな体験や学習に！

- ・これから高齢者施設への訪問を考えている
- ・高齢者との交流前にオリエンテーションをしたい



- ・高齢者疑似体験セットを用いて、日常動作の身体的機能の低下を体験する
- ・高齢者に対する理解を深める



高齢に伴う身体機能の低下は、誰もが避けては通れない道です。自分の身体が、段々と思うように動かなくなることは、その人に不安や孤立感を与えます。高齢者を含む多様な人が、住み慣れた地域で暮らし続けるために、なにができるか？なにが必要なのか？実際の体験から考えてみましょう。

01

参加人数

会場の広さと体験グッズの数に応じる。特に制限なし

02

所要時間

おおよそ45分
(授業の1コマ)

03

対象者

小学生～大人まで可

04

方法

出前講座・体験、地域探索

05

プログラムアイデア

【例】

- ・高齢者施設で働く職員による講話
- ・体験セットを装着しながら授業を受けてみたり、学校内や周辺を歩き回ってみたりする
- ・ふれあい・いきいきサロンへの訪問を検討する
- ・昔の遊びや流行について調べてみる



06

その他

- ・富士市社会福祉協議会では福祉用具の貸出をしています。詳細は24ページをご確認ください
- ※ふれあい・いきいきサロンとは…ボランティアや参加者と一緒に、気軽に楽しいひと時を過ごす場所です。

06 ボランティアってなんだろう



05
気づく、考える、
学び合う



06
知ることこそ、
優しさの第一歩



08
小さな行動、
大きなつながり

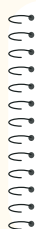


こんな体験や学習に！

- ・ボランティア実践前に、オリエンテーションをしてほしい
- ・自分の地区にどんな人が暮らしているのかを知りたい



- ・ボランティアをする際の心構えについて知る
- ・ボランティア活動をしている人の思いを知る
- ・その活動に感謝の思いを持つ



富士市社会福祉協議会では、市内でボランティア活動をしている様々な人とつながりがあります。音訳や傾聴、要約筆記といった日常を支える活動から、楽器や体操など、自身の趣味や特技を活かした活動まで。

多種多様な活動をしている方をゲストに、ボランティア活動について学びましょう！あなたも一歩踏み出してみませんか？



01

参加人数

特に制限なし

02

所要時間

おおよそ45分
(授業の1コマ)

03

対象者

小学生～大人まで可

04

方法

出前講座

05

プログラムアイデア

【例】

- ・ゲストスピーカー（ボランティアさん）に活動に対する思いを語ってもらう
- ・富士市社会福祉協議会の職員による講話
- ・人や地域の変化について話し合うワークショップ



06

その他

ゲストスピーカーを依頼する場合、調整に時間がかかる場合があります。お早めにご相談ください。

07 食から理解する福祉の力



こんな体験や学習に！

- ・生活に直結する、食を通じて福祉への理解を深めてほしい
- ・高齢者福祉について深く学びたい



- ・高齢者を取り巻く「食」の困難を理解する
- ・身近な「食」で知らなかったことを知る
- ・体験を取り入れリアルな感覚を得ることで、より深い理解につなげる



食事は、生きていく上で必要不可欠な行為です。しかし、高齢になることで食事に困難が生じる可能性があります。そこを理解し、高齢の方について深く学ぶプログラムです。



01

参加人数

少人数～30名前後
※相談可

02

所要時間

おおよそ1時間程度
(授業の1コマ)

03

対象者

中学生～高校生程度

04

方法

出前講座、出前体験

05

プログラム内容

【例】

- ・嚥下機能など、食にまつわる講話
- ・食事介助や、ムースやミキサー食の試食
- ・内容に応じたクイズやゲーム



06

その他

ムースやミキサー食の提供事業者の調整ならびに、体験に料金がかかる場合があります

08 食事でつながる福祉と地域



こんな体験や学習に！

- ・利用者と交流しながら、福祉の現場の空気を感じてほしい
- ・福祉の現場におけるコミュニケーションスキルを取得したい



- ・実際に福祉の現場の空気を感じる
- ・地域との交流ができる
- ・参加者にとっても、福祉施設が地域の居場所のひとつになる



実際の福祉の現場に赴き、施設を利用されている方と交流をはかるプログラムです。一緒に食事をしながら、コミュニケーションスキルをアップさせていきましょう。



01

参加人数

3～5名程度

02

所要時間

30～60分
お昼の時間

03

対象者

地域の方(高校生も可)

04

方法

施設訪問

05

プログラムアイデア

【例】

- ・施設にて、利用者とともに、同じ食事を摂りながら交流を図る
- ・出し物や催し物などの披露



06

その他

- ・料金が必要な場合もあります。
- ・時期によっては制限や受入不可。
- ・長期休み、また複数回にわたってきていただくとありがたいです。

09 地域とつながる防災

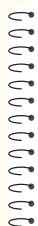


こんな体験や学習に！

- ・地域の災害時における活動を知りたい
- ・地域や福祉施設とつながりたい



- ・地域や福祉施設の人と実際に関わる機会をつくる
- ・防災を通じて、学校と地域がつながる
- ・福祉や地域活動への関心を高める



災害時に支えとなるのは、日頃のつながりと具体的な行動です。このプログラムでは、地域や福祉施設の人と関わりながら、避難時に手助けが必要な方への対応方法を学びます。あわせて、お互いの強みを確認し合い、地域の防災力の向上につなげていきます。「誰と助け合うのか」「自分に何ができるのか」を考え、つながりを力に変える防災を学びます。



01

参加人数

特に人数制限なし
(※要相談)

02

所要時間

1時間ほど

03

対象者

中学生～大人まで

04

方法

出前講座・防災訓練

05

プログラムアイデア

【例】

- ・避難時の要配慮者への対応について学ぶ
- ・地域や施設における防災訓練の実施
- ・災害時の福祉施設の果たす役割を考えるワークショップ



06

その他

地域の方や福祉施設との調整に時間がかかる場合があります。お早めにご相談ください。

10 福祉の視点から災害を考える

01 誰一人取り残さない
富士市へ



06 知ることこそ、
優しさの第一歩



08 小さな行動、
大きなつながり

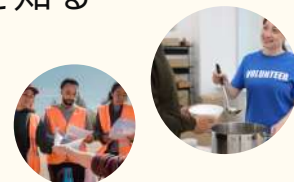


こんな体験や学習に！

- ・避難訓練や防災に関する学習を行っている
- ・自分たちの地域活動について振り返りたい



- ・災害時、自分たちができることを考える
- ・被災した人たちの言う「大丈夫」の裏側を知る
- ・普段の地域活動を結びつけて考える



平時から顔の見える関係・つながりを築くということは、結果的に防災へとつながっていき、「災害に強い地域」へと変わります。日常的に行っている様々な地域活動の中から、防災に関する情報を提供するとともに、「福祉」という観点から災害に関して学習します。



01

参加人数

特に人数制限なし

02

所要時間

おおよそ45分
(授業の1コマ)

03

対象者

小学生～大人まで可

04

方法

出前講座

05

プログラムアイデア

【例】

- ・災害時の困りごとを考えるグループワーク
- ・災害や防災活動に携わる人による講話
- ・自分たちにもできそうなことを探すワークショップ



06

その他

これまでの総合的な学習や道徳、その他福祉に関する学習を行っている場合、内容について教えてください。

11 児童養護施設について知ろう



こんな体験や学習に！

- ・ 地域にある福祉施設について学びたい
- ・ 児童福祉についての知識を深める



- ・ 児童養護施設について理解する
- ・ 現在の児童福祉や、施設が担う地域での役割について知る



児童養護施設とはどのようなところだと思いますか？どのような子どもたちが暮らしているのか、どんな暮らしをしているのか、どのように子どもたちを支援しているのかなど、一緒に学び知識を深めましょう！



01

参加人数

10～15名程度

02

所要時間

1時間程度

03

対象者

福祉を学ぶ学生、
大人(民生委員児童委員など)

04

方法

出前講座、施設訪問

05

プログラムアイデア

【例】

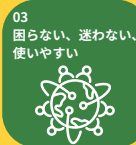
- ・ 児童養護施設の紹介
- ・ 入所や子育て支援活動の講話
- ・ 児童福祉に関する講話



06

その他

※対象は、18歳以上の方です。
ご了承ください



12 福祉用具を体験してみよう



こんな体験や学習に！

- ・身近にある福祉用具について学びたい
- ・体験を通して福祉用具の重要性を学びたい



- ・福祉用具の重要性を知り、これからの生活で高齢者や障がい者について理解する
- ・思いやりの心を育む



あなたの身近にある福祉用具は、どんな人の「できる」を支えているでしょうか。安心して暮らせる環境づくりには、どんな工夫があるでしょうか。本プログラムを通して、福祉用具の役割や可能性を一緒に考えてみませんか。



01

参加人数

少人数～30名程度
体験用具の数に応じて

02

所要時間

1時間程度
人数によって変動します

03

対象者

小学生～大人まで可

04

方法

出前講座、出前体験

05

プログラムアイデア

【例】

- ・福祉用具に関する事前学習
- ・体験学習にて障がいや年を取ることの変化を学ぶ
- ・福祉用具の重要性を知る



06

その他

- ・年齢は幅広く対象としています
- ・参加人数により、グループごとの体験になる場合もあります。



13 エコキャップや古切手はどこに行くの？

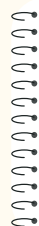


こんな体験や学習に！

- ・SDGsについて学んでいる
- ・普段エコキャップやベルマークを集めている



- ・収集ボランティアの活動について知る
- ・集まったものがどうなるのか知る
- ・自分たちも活動に参加してみる



いつでも、どこでも、どなたでも！富士市社会福祉協議会ではエコキャップやベルマーク、古切手などを収集し、様々な人のために役立てています。それらは一体どこへ行き、どんなものになるのか？誰のためになるのか？収集ボランティアについて知識と理解を深めましょう！あなたも参加してみませんか？



01

参加人数

特に人数制限なし
(※要相談)

02

所要時間

おおよそ45分
(授業の1コマ)

03

対象者

小学生～中学生程度

04

方法

出前講座

05

プログラムアイデア

【例】

- ・富士市社会福祉協議会の職員による講話
- ・古切手やベルマーク整理ボランティアに参加
- ・自分たちでも収集してみる



06

その他

※エコキャップ活動とは…ペットボトルのキャップを集めてリサイクルし、その利益を発展途上国のワクチンに変える活動です。

14 高齢者の暮らしを知り、支え合いを学ぶ



こんな体験や学習に！

- ・地域の身近にある福祉施設について学びたい
- ・福祉教育を通じて福祉の魅力を知ってほしい



- ・高齢者の生活や思いを知り、共感する心を育てる
- ・ともに生きる社会の視点を持つ



特別養護老人ホームは地域の身近にある施設として、高齢化が進む社会の中、地域を支える大切な役割を担っています。特別養護老人ホームってどんなところ？利用者さんはどんな生活しているの？など高齢者福祉の「今」を実際に見学、体験しながら身近な福祉を学びませんか？



01

参加人数

5～10名程度

02

所要時間

1時間程度

03

対象者

小学生～中学生程度

04

方法

施設訪問

05

プログラムアイデア

【例】

- ・施設内の見学や設備機器の説明
- ・利用者との交流会やお茶会、カラオケなど
- ・スペシャルゲストを呼んで出し物など



06

その他

時期や状況によっては、訪問が難しい場合があります

15 地区のガイドマップをつくってみよう



こんな体験や学習に！

- ・ 地域探索やまち歩きの結果物を作りたい
- ・ 声を掛け合える関係性や支え合いを「見える化」したい



- ・ 自分たちの地区の場所や歴史を改めて振り返る
- ・ 日常の気づきや関わりをみんなでも共有する
- ・ より自分の地域のことを好きになる



その地域に暮らす人も、市外から来た人もそのマップを見て、誰もが地域を楽しく知ることができるような、自分たちのオリジナルマップを作成してみませんか？どんなお店があるのか、どんな場所があるのか、ベンチや休憩場所、トイレや、自分たちのオススメの場所まで。地域をまわり、自分たちの「好き」を盛り込んだマップを作ってみましょう！



01

参加人数

特に人数制限なし
(※要相談)

02

所要時間

2時間程度～

03

対象者

小学生～大人まで可

04

方法

出前講座、地域探索

05

プログラムアイデア

【例】

- ・ 授業で地域の人たちと一緒にマップ作り
- ・ 地域DIGやハザードマップ、ユニバーサルデザイン、バリアフリーの授業との連携
- ・ 作成したマップを地域内の施設や住民に配布
- ・ 避難訓練や観光目的など、様々な用途で作成する



06

その他

- ・ これまでの総合的な学習や道徳、その他福祉に関する学習を行っている場合は、内容について教えてください。
- ・ 調整に時間がかかる場合があります。お早めにご相談ください。

16 パラスポーツを体験してみよう



こんな体験や学習に！

- ・実際にパラスポーツを体験してみたい
- ・誰もができるスポーツで多世代交流がしたい



- ・年齢や障がいに関わらずできるスポーツを知る
- ・パラスポーツに興味を持つ
- ・参加者同士で交流を図る



パラスポーツをご存じですか？パラスポーツは、身体的、知的、または感覚的な障がいを持つ人々が参加するスポーツの総称です。障がいの有無や性別、年齢に関わらず、どんな人でも一緒に楽しむことができます。

みんなで力を合わせるため、交流にもってこいのスポーツです！
一緒に楽しんでみませんか？



01

参加人数

会場の広さと体験グッズの数
に応じる。特に制限なし

02

所要時間

おおよそ45分
(授業の1コマ)

03

対象者

小学生～大人まで可

04

方法

出前講座、出前体験

05

プログラムアイデア

【例】

- ・車椅子スポーツ
- ・ポッチャ
- ・ゴールボール等、機器を使用したスポーツ
- ・パラスポーツに関する講話や説明



06

その他

富士市社会福祉協議会では福祉用具の貸出
をしています。
詳細は24ページをご確認ください



17 突撃！あなたにインタビュー



こんな体験や学習に！

- ・ 様々な価値観や考え方があることを知ってほしい
- ・ 自分たちの地域にどんな人がいるのか知りたい



- ・ 地域で続く活動や取り組みの背景にある「思い」を想像する、知る
- ・ 自分のまちや地域を改めて見つめ直すことができる



ふれあい・いきいきサロンやこども食堂、民生委員児童委員、地区福祉推進会、その他地域で様々なボランティアをしている方々。富士市に暮らしている人、生まれ育った人、市外から引っ越してきた人など、富士市には様々な人がいます。自分の地域にはどのような人がいるのか、そしてその人が地域にどのような思いを持っているのかについても目を向けてみましょう。



01

参加人数

特に人数制限なし
(※要相談)

02

所要時間

おおよそ45分
(授業の1コマ)

03

対象者

小学生～大人まで可

04

方法

出前講座、地域探索

05

プログラムアイデア

【例】

- ・ 地域の方をゲストスピーカーに、活動や思いを語っていただく
- ・ 活動を実際に見学、体験してみる
- ・ その人たちのために、自分たちにはなにができるのか考える



06

その他

- ・ 調整に時間がかかる場合があります。お早めにご相談ください。
- ※ふれあい・いきいきサロンとは…ボランティアや参加者と一緒に、気軽に楽しいひと時を過ごす場所です。

18 赤い羽根共同募金について



こんな体験や学習に！

- ・募金の使いみちについて知りたい
- ・地域をよくするしくみについて知りたい



- ・赤い羽根共同募金のしくみについて知る
- ・募金の使いみちについて知る
- ・協力できそうなことを考える



毎年10月1日から、赤い羽根を目印とした募金活動が行われています。その名も、赤い羽根共同募金。この募金は、子どもや高齢者の居場所づくり、地域福祉の推進のために活用されているほか、災害時の被災地支援にも役立てられています。見かけたことがある人、募金に協力したことがある人など、さまざまではないでしょうか。募金のしくみや使いみちを知り、より身近なものとして感じてみましょう。



01

参加人数

特に人数制限なし
(※要相談)

02

所要時間

おおよそ45分
(授業の1コマ)

03

対象者

小学生～高校生

04

方法

出前講座、地域活動の参加

05

プログラムアイデア

【例】

- ・富士市社会福祉協議会の職員による募金の説明
- ・募金に協力をする
- ・ポスター制作を試みる
- ・「どうしたら募金に協力してもらえるか？」を考えるグループワーク



06

その他

これまでに福祉に関する学習を行っている場合は、内容について教えてください

04

おたすけツール紹介

はじめよう！地域福祉教育
 福祉教育相談フォーム
 より気軽に情報収集や相談ができる
 富士市社会福祉協議会のお問い合わせ
 フォームです。
 福祉教育をお考えの際は、ぜひご活
 用ください！



←問い合わせフォーム
 「なにかしたい」「考えたい」という漠然とした段階でもご連絡ください！

貸出機器一覧(体験用品)

<p>車いす</p> <p>貸出数 20台</p> <p>※折りたたみ・広げ方説明</p> <p>保管場所:1F階段下</p>	<p>白杖・アイマスク</p> <p>白杖 60本 アイマスク 60枚</p> <p>※10分を越えて使用して下さい</p> <p>保管場所:2F倉庫</p>	<p>高齢者疑似体験</p> <p>総数 18セット 貸出数 18セット</p> <p>※着用方法説明 ボタンが硬すぎず、ゆるいので おろしを入れたまま履きしないでください</p> <p>保管場所:2F倉庫</p>	
<p>らくらくばさみ</p> <p>総数 5本 貸出数 5本</p>	<p>多機能スプーン</p> <p>多機能スプーン 2本 ドリフト型スプーン 2本</p> <p>保管場所:2F倉庫</p>	<p>ピンセット型箸</p> <p>総数 10本 貸出数 10本</p>	
<p>ボッチャセット(屋内専用)</p> <p>貸出数 2セット</p> <p>※屋外利用時は ユニホッチャをご利用ください</p>	<p>ユニホッチャ(屋外用可)</p> <p>貸出数 2セット</p>	<p>車いすサッカーボール</p> <p>貸出数 2個</p>	
<p>携帯用点字盤</p> <p>貸出数 50セット</p> <p>保管場所:2F倉庫</p>	<p>点字盤</p> <p>貸出数 5枚</p>	<p>ゴールボール</p> <p>貸出数 3個</p> <p>保管場所:ボラー1倉庫</p>	

2023.4月
 富士市社会福祉協議会ボランティアセンター

貸出機器一覧

車椅子や高齢者セット、ボッチャなど、福祉機器の貸出を行っています。
 ※貸出は1週間ほどです。
 ※貸出数は変動することがあります。

特技ボランティア

仕事や趣味等で培われた特技を、地域の各種イベントや福祉事業所等で披露したり、教えたりする方々のことです。



←紹介リンク

一覧表や相談方法はこちらをご覧ください。

05 相談ガイド

step 1

企画

ねらいや目的を明確にし、日程や内容を検討します。

step 2

依頼・相談

実施予定日のおよそ**2ヶ月前**までに富士市社会福祉協議会にご相談ください。

※24ページの問い合わせフォームをご活用ください。

step 3

調整

依頼内容を確認後、講師などの調整を行います。

※講師を依頼する場合、費用が必要になることがあります。

step 4

準備

必要物品の準備や打ち合わせ、事前学習を実施します。

step 5

実施

学習の目的を全体で共有します。

こどもたちや参加者の気づきを大切にしながら、自ら考えて学びを深めていく機会をつくります。

step 6

振り返り

振り返りを行い、普段の生活での行動につなげ、次の学びへ展開していきます。

06

プログラムづくりのポイント

以下のポイントを押さえると、より効果的なプログラムになります

☑ 検討の際は…

まずはご相談ください

ゲストスピーカーや講師が必要となる場合、日程や時間の調整が必要になります。急な依頼や変更は対応できなくなってしまうこともありますので、早めのご相談をいただくと幸いです。

☑ 計画の共有段階で

ねらいや目的を明確に

参加者や子どもたちにどのようなことを感じ、考え、学んでほしいですか？話を聞く、体験をして終わることがないよう、事前に学習や体験のねらい、目的を明確にしましょう。

☑ ねらいや目的のすり合わせ

事前の打ち合わせを

プログラムが決まり、講話や体験をお願いする際、関わる人が同じねらいや目的を共有できるように、ゲストスピーカーの方や団体、講師との事前打ち合わせをしましょう。

☑ プログラム前後は…

事前学習や振り返りの時間を！

プログラムの前後に、事前学習や振り返り、落とし込みの時間を設けることで、より内容に深みが出ます。必要に応じて富士市社会福祉協議会が前後の学習もお手伝いすることができますので、お気軽にご相談ください。

07

委員メッセージ①

つながろうプロジェクト実行委員に、
「福祉の道を選んだきっかけ」
を聞いてみました！



社会福祉法人 芙蓉会
特別養護老人ホームみぎわ園 K・M

小学生の頃、生まれた時のことを知る授業で自分が多くの人に助けられた存在だと知りました。

今度は誰かの生活を支えられる側になりたいと思い福祉のみちを選びました。



株式会社 富士ドリームビレッジ
富士山ドリームビレッジ T・T

私は元々、別の業種で営業職をしておりましたが、知人に持病があり、働くことがなかなかできなかったことがきっかけで29歳の時に障がい者の就労支援の道に進みました。



社会福祉法人 岳陽会
特別養護老人ホーム岩本園 Y・T

一人暮らしをしていた祖父が倒れ、同居をして段々と介護が必要になりました。祖父に大変お世話になったので、少しでも恩返しがたく介護技術が必要になりました。同時期に、現在勤めている法人の人に声をかけていただき介護福祉の業界で働くことになりました。



有限会社 吉原介護センター
デイサービスセンター和楽 N・K

元々別の業種でしたが、将来を見据えて転職を考えていた時に、祖母がデイサービスに通い始め、祖母が嬉しそうにデイサービスの話をして、私もご高齢の方を楽しませる仕事をしたいと思いデイサービスで働くようになりました。



社会福祉法人 やまびこ会
認定こども園 松の実保育園 K・C

元々こどもが好きで、こどもと関わる仕事がしたいと思っていました。こどもと関わるができる職業が沢山ある中で、こどもたちの成長を1番近くで感じられるのが保育士だと思います。日々成長していく姿がとても愛おしく感じられる職業です。

08

委員メッセージ②

つながろうプロジェクト実行委員に、
「福祉の道を選んだきっかけ」
を聞いてみました！



社会福祉法人 誠信会

富士障害者就業・生活支援センターチャレンジ O・F

私が福祉を目指したきっかけは、中高6年間行っていた、ジュニアリーダーという活動を経て「こどもが好き」「保育や障がいなどの福祉に興味がある」と気付いたことです。ピアノが苦手な保育園で働くことは辞めてしまいましたが、「誰かの役に立つ・人を笑顔にできる」ということは変わらない今の仕事に誇りを持っています。



社会福祉法人 富士市社会福祉協議会

ボランティアセンター T・H

こどものことも高齢者のことも興味がある。福祉を通じて地域活性化に携わってきたい。そんな思いで学生の頃、ボランティアセンターに話を聞きに行きました。今、高校の頃に夢見ていた場所で、あの時相談に乗ってくれた人とともに働いています。



社会福祉法人 富士市社会福祉協議会

ボランティアセンター Y・A

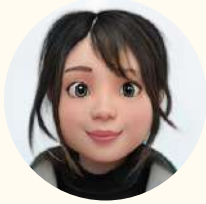
大学時代、教員と福祉の道で悩みましたが、様々なボランティア活動に参加する中で、人と関わり支援することに大きな喜びと楽しさを感じました。この経験が決め手となり、福祉の世界で働きたいと考えました。



社会福祉法人 誠信会

特別養護老人ホーム 富士楽寿園 K・T

障がいの叔父がいた為、私にとって障がい福祉は身近な存在でした。そんな叔父を60年以上支えてくださった福祉関係者様に恩返しをしたいという祖母の思いから福祉業界に入職し、今は利用者様からの「ありがとう。」の言葉が仕事の励みになっています。



社会福祉法人 誠信会

誠信少年少女の家・あやめ M・Y

高校生の進路選択の際、困っている人の役に立ちたい、こどもと関わる仕事をしたいと思い福祉を学べる大学を選びました。高校生の時は漠然とした思いで福祉を選びましたが、学ぶにつれとても魅力的な仕事であると知り、そのまま福祉の道に進みました。

09

委員メッセージ③

つながろうプロジェクト実行委員に、
「福祉の道を選んだきっかけ」
を聞いてみました！



株式会社 コーヨー
ケアベースふじやま U・K

福祉用具専門相談員として、日々利用者の生活に寄り添う中で、「知ること」が支援の質を大きく左右することを実感しています。本プログラムは、福祉や障がいへの理解を深めるだけでなく、当事者の視点に立って考える力を育む内容となっており、支援の現場にも直結する学びが得られます。福祉用具は“道具”である前に、“生活を支える手段”です。本プログラムを通して、一人ひとりの暮らしや想いに目を向ける姿勢が広がり、誰もが安心して暮らせる社会づくりにつながることを期待しています。



社会福祉法人 富士市社会福祉協議会
障害者就労支援施設 竹の子 I・A

これまでたくさんの人の優しさや温かさに助けられてきました。だから今度は、自分が誰かの力に少しでもなれたらいいなと思い、福祉を目指すようになりました。



社会福祉法人 誠信会
法人本部 M・F

元々教員を目指していましたが、大学時代児童養護施設の実在を知りました。家庭環境や障がい、高齢化など、自分にはどうにもできない課題にぶつかった時、助けになるのが「福祉」だと思い、福祉の道を志しました。

つながろう
プロジェクト

とは…

富士市の福祉の魅力や、福祉の仕事のやりがい・楽しさを多くの人に伝えたい。

そんな思いから、市内の社会福祉法人や福祉事業所で働く若手・中堅職員が集まり、「つながろうプロジェクト」を立ち上げました。保育・高齢・障がいなどの分野や、法人・職種の枠を越えてつながりながら、富士市の福祉の魅力を発信する活動を行っています。

事務局

所属	役職	氏名
社会福祉法人 富士市社会福祉協議会	地域支援課 課長	渡邊 義高
社会福祉法人 富士市社会福祉協議会	地域支援課 主査	加藤 慎也
社会福祉法人 富士市社会福祉協議会	地域支援課 専門員	稲岡 宏昭

『ふじしの ふくしの ぷろぐらむ』発行にあたり

富士市 福祉人材育成事業 実行委員長

社会福祉法人 芙蓉会
特別養護老人ホーム みぎわ園
事務長
佐藤 典生 様

平成27年度より福祉業界の人材確保・育成・定着などを目的とした福祉人材育成事業を開始、令和3年度からは『つながろうプロジェクト実行委員会』がスタートし、その集大成として、このプログラム集を発行しました。

『福祉』の基本は『人とのかかわり』です。これは人間が生きていく上で食べることや眠ることと同じくらい大切なことです。

そして私たちはそれを『仕事』として、毎日さまざまな人とかかわりを続けて、つながりを深め、広げています。

この冊子を目にしてくれたみなさんが福祉の仕事に興味を持ってもらえることを願っています。

アドバイザー

社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会
静岡県社会福祉人材センター
主幹
曾根 允 様

「複数の福祉施設×社協」の共同開発により、多角的な視点を持つ画期的なプログラム集が完成しました。

実施にあたって「学校」や「地域」のみなさんも加われば、さらに大きな相乗効果が生まれるはず。

この一冊をツールとして、四者のネットワークで、より有意義な学びを創り出していきましょう！

富士市福祉人材育成事業 実行委員

(敬称略)
◎実行委員長

所 属	役 職	氏 名
社会福祉法人 芙蓉会 特別養護老人ホーム みぎわ園	事務長	◎佐藤 典生
社会福祉法人 誠信会	常務理事	松田 靖子
社会福祉法人 岳陽会 地域密着型特別養護老人ホーム あおば	副施設長	杉山 江美
有限会社 吉原介護センター	施設長	長原 良成
株式会社 コーチャー ケアベース ふじやま	福祉事業部 部長	荻野 佳那子
社会福祉法人 ふじのやま 富士市立くすの木学園	園長	三原 雄一郎
社会福祉法人 やまびこ会 認定こども園 松の実保育園	園長	遠藤 誠浩
社会福祉法人 富士市社会福祉協議会	常務理事兼事務局長	石川 伸宏
社会福祉法人 富士市社会福祉協議会	介護サービス室 室長	佐野 千文

本プログラム集は、静岡県社会福祉協議会「社会福祉事業振興のための助成」を受けて制作しました



発行者

令和8年3月

つながろうプロジェクト実行委員会

事務局：社会福祉法人富士市社会福祉協議会
(富士市本市場432-1 富士市フィランセ)

0545-64-7100

0545-64-9040

vc@fujishishakyo.com